
Windows7インストール手順書
(PAシリーズ WindowsXP モデル)

■はじめに

この手順書はPAシリーズWindowsXPモデルを WindowsXPからWindows7へ変更する手順を説明しています。Windows7のインストールを行う前に下記【注意事項】をよくお読みになり、事前にバックアップを行った上で作業を行ってください。このインストール手順書はWindows7 Home Premium(32bit)用として作成されております。エディションによっては、操作が若干異なることがあります。

PAシリーズは、搭載可能メモリが1GB未満のため、Windows7を快適に動作させることはできません。WindowsXPのまま使用されることと強く推奨いたします。

■注意事項

- ・本機はマイクロソフトの推奨するWindows7の動作環境を満たしていないため、(搭載可能メモリが1GB未満のため) Windows7を快適に動作させることはできません。また、Aero(エアロ)機能の表示は可能ですが、本機の性能上の快適に使用することはできません。
- ・タッチパネルドライバをインストールするまで、タッチパネルを使用することができません。Windowsの主たる操作をすべてキーボードで行う必要があります。高度な操作が必要なため、初心者の方はインストールが行えない場合があります。Windows7インストールを中止し、WindowsXPへの復元を弊社サービスセンターへご依頼いただいた場合、有償修理扱いとなり、所定の費用が発生いたします。あらかじめご了承ください。
- ・本機のタッチパネルは、Windows7のタッチパネル機能と互換性がないため、Windows7のタッチパネル機能は使用できません。
- ・Windows7のインストールを行う際、SSDの初期化を行います。SSDの初期化を行うとSSD上のデータはすべて消去されます。お客様の作成されたデータなどは、必ずバックアップを行った上で作業を行ってください。
- ・Windows7へアップグレードを行った場合、アップグレード前に使用できた機能が使用できない場合があります。また、Windows7で提供されるすべての機能が、そのままお使いいただけることを保証するものではありません。
- ・Windows7へのインストール中はインターネットへの接続ができません。必要なドライバなどはインストール前にダウンロードする必要があります。
- ・いままでWindowsXP上で動作していたソフトウェアがWindows7上で動作しない場合があります。
- ・弊社サービスセンターでのWindows7へのOS変更サービスは行っておりません。また、WindowsXPへの復元を弊社サービスセンターへご依頼いただいた場合、有償修理扱いとなり、所定の費用が発生いたします。あらかじめご了承ください。

■Windows7のインストールに必要な機器について

Windows7のインストールを行うためには以下の機器が必要となります。

- ・ Windows7 OSのDVD-ROM
別途ご購入いただく必要があります。
- ・ DVDが読み書き可能な外付け光学ドライブ（USB接続のもの）
OSのインストールに必要となります。
また、「WindowsXPリカバリディスク」を作成する場合に必要となります。
- ・ ブランクDVD-R（1枚）
「WindowsXPリカバリディスク」を作成する場合に必要となります。
- ・ 外付けUSBメモリ／ハードディスクなど
お客様のデータのバックアップおよびWindows7用のドライバを保存するために必要となります。
Windows7のインストールに必要なドライバが300MB程度、本体に標準添付されているプログラムだけで1GB程度の容量が必要なため、できるだけ大きな容量のものをご準備ください。
「Windows転送ツール」を使用することで必要な容量が表示されます。
下記【データのバックアップ】項目をご参照ください。

■Windows7へアップグレードを行う前に必要な作業

【データのバックアップ】

1. お客様が作成されたデータを「Windows転送ツール」を使用してバックアップを行います。
外付け光学ドライブを本体に接続し、「Windows7 OSのDVD-ROM」を挿入します。

※以下の説明は外付けDVDドライブが、Eドライブと認識されているものとします。
2. Windowsのインストール画面が表示されますので、右上の「X」をクリックし、ウィンドウを閉じます。
3. 「マイコンピュータ」を開き、外付け光学ドライブを右クリックし、「開く(O)」を選択します。
4. 「support」→「migwiz」の順にフォルダを開き、「migsetup」をダブルクリックします。（環境によっては「migsetup.exe」と表示される場合があります。）
5. 「Windows 転送ツール」画面が表示されますので「次へ(N)」をクリックします。
6. 「外付けハード ディスクまたは USB フラッシュ ドライブ」を選択します。
7. 「→これは今までのコンピューターです」を選択します。
8. 「転送できる内容を確認しています…」画面が表示されますので、そのままお待ちください。
9. 「このコンピューターから転送する内容を選択します」画面が表示されます。
コピーするのに必要な容量が表示されます。
「外付けUSBメモリ／ハードディスク」などの空き容量が不足する場合、右上の「X」をクリックし、作業を中断してください。
問題がない場合、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」を接続し、「次へ(N)」をクリックします。

※「c:¥KJS」以下のデータが自動的に保存される設定になっています。
「c:¥KJS」以下のデータはWindows7インストール後も必要となりますので、必ずコピーする設定にしてください。
10. 「転送するファイルおよび設定を保存します」画面が表示されます。
「パスワード」を入力せずに「保存(S)」をクリックします。
11. 「転送ツールの保存先」が表示されますので、「外付けUSBメモリ／ハード

ディスク」を選択し、「保存(S)」をクリックします。

※標準の保存名は「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」となります。

- 1 2. 保存が完了すると「転送のためのファイルと設定が保存されました。」画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックしてください。
- 1 3. 「転送ファイルが作成されました」画面が表示されますので、「次へ(N)」をクリックしてください。
- 1 4. 「このコンピューター上でのWindows 転送ツールの処理は完了しました。」画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。
- 1 5. 「Windows 転送ツール」でコピーされなかったデータがある場合、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」へバックアップを行ってください。特に重要なデータは「Windows 転送ツール」でバックアップされた場合でも、バックアップをしておくことをお勧めします。
- 1 6. バックアップを行った「外付けUSBメモリ／ハードディスク」はWindows7のインストール中は接続しないでください。バックアップを行ったデータが消失する恐れがあります。

【Windows7ドライバのダウンロード】

1. 弊社サポートページからWindows7対応ドライバのダウンロードを行います。
<http://www.kjs-j.com/go/support/win7drv/>
2. ダウンロードしたファイルは「圧縮(ZIP形式)フォルダ」形式のため、「圧縮フォルダの展開ウィザード」または他のツールを使用して展開を行います。

本書では、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」に展開することを前提に記載されており、その展開先は「d:\win7drv」となります。

※ダウンロード直後のファイルは、ファイルへのアクセスがブロックされる設定になっていることがあります。「ブロックの解除」が行われていない場合、各種警告メッセージが表示され、意図しない動きをする場合があります。

「ブロックの解除方法」は以下の通りです。

1. ダウンロードしたファイルを右クリックし、「プロパティ(R)」を選択します。
2. 「全般」タブの一番下に「セキュリティ:」項目がある場合、「ブロックの解除」ボタンをクリックします。項目がない場合、ブロックの解除はすでに行われています。
3. 「OK」ボタンを押し、ウィンドウを閉じます。

【注意】ドライバの展開先に「ローカルディスク(C)」を選択しないでください。OSのインストール時、現在使用中のOSとともにデータが削除され、ドライバのインストールが行えません。

「圧縮フォルダの展開ウィザード」を使用した展開方法は以下の通りです。また、展開先は「外付けUSBメモリ／ハードディスク」である必要があります。※CドライブはOSインストール時全てのデータが削除されるため、ドライバの保存先としないでください。

1. ダウンロードしたファイルを右クリックし、「すべて展開(A)...」を選択します。
2. 「圧縮フォルダの展開ウィザードの開始」画面が表示されますので、「次へ(N)」をクリックします。

3. 「ファイルを下のディレクトリに展開する(0):」に「d:¥win7drv」と入力し、「次へ(N)」をクリックします。
4. ファイルが展開されます。しばらくお待ちください。
5. 「ファイルは下のディレクトリに正しく展開されました。」画面が表示されましたら、「完了」をクリックします。

【アプリケーションソフトの対応】

- ・ ebi. BookReader3Jの電子書籍のバックアップ
OS変更後は別の端末と認識してしまうため、購入した書籍が読めなくなります。
購入した書籍はトランクルーム（50冊まで無料）を使用してバックアップを行ってください。
OS変更時の注意事項などは下記をご参照ください。
<http://www.ebookjapan.jp/ebj/reader/windows/>

【リカバリエリア変更パッチの実行】

Windows7のインストールを行う前に、SSDの設定を変更しないとWindows7のインストールが正しく行えない場合があります。
また、リカバリエリア変更パッチの実行後は、ユーザズガイドに記載された方法でリカバリを行うことができなくなります。

具体的な方法は【Windows7インストール後、WindowsXPへ戻す場合】を参照ください。

1. 「d:¥win7drv¥0ther」フォルダ内の「receng」をダブルクリックします。
(環境によっては「receng.cmd」と表示される場合があります。)
「*** リカバリエリアの変更が完了しました ***」メッセージが表示されるのを確認し、「Enter」キーを押します。

■Windows7のインストール（アップグレード インストール）

本モデルはWindowsXPモデルのため、Windows7へのアップグレードインストールはサポートされておりません。

※新規カスタムインストールのみの対応となります。

■Windows7のインストール（新規（カスタム）インストール）

【OSのインストール】

1. Windowsを起動し、デスクトップが表示されている状態で、外付け光学ドライブを本体に接続し、「Windows7 OSのDVD-ROM」を挿入します。
USBメモリやmicroSDカードなどは、すべて取り外してください。
2. スタートメニューよりコンピュータの再起動を行います。
3. BIOSの画面（KOHJINSHAロゴ）が表示されますので、「F11」キー（「Fn」キーを押しながら「U」キー）を数回押します。
4. 「Please select boot device:」が表示されますので、「↑」「↓」キーで外付け光学ドライブを選択し、「Enter」キーを押します。

※表示する内容は外付け光学ドライブの機器によって異なりますが、「HDD:（以下省略）」と「USB:（以下省略）」の2種類が表示されている場合、「USB:（以下省略）」のほうを選択（白地に青文字で表示）します。

5. 「Press any key to boot from CD or DVD.」が表示されたら「Enter」キーを押します。WindowsXPが起動した場合、「2」に戻ってコンピュータの再起動を行います。

6. 「Windowsのインストール」画面が表示されます。
「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
※タッチスクリーンの位置補正が行われていないため、正常に使用することはできません。
7. 画面が切り替わりますので、「Alt」キーを押しながら「I」キーを押します。
8. 「ライセンス条項をお読みください」画面が表示されますので、内容を確認の上「Alt」キーを押しながら「A」キーを押し、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
9. 「Alt」キーを押しながら「C」キーを押します。
10. 「Alt」キーを押しながら「A」キーを押します。
11. 「↑」「↓」キーを押し、「ディスク0 パーティション2」が選択（背景が水色）し、「Alt」キーを押しながら「F」キーを押します。

※ディスク0 パーティション1はリカバリエリアのため、フォーマットしないでください。リカバリエリアを削除した場合、WindowsXPへ復元するには弊社サービスセンターへご依頼いただく必要があります。
有償修理扱いとなり、所定の費用が発生いたします。
あらかじめご了承ください。
12. 「Windowsのインストール」ウィンドウが表示されますので、「TAB」キーを押し、「OK」を選択し、「Enter」キーを押します。
13. 「Windowsのインストール」ウィンドウが消えたら、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
14. 「Windowsのインストール中...」画面が表示されます。
OSのインストールが完了するまで50分ほどかかります。
そのままお待ちください。

※リカバリエリア変更パッチを実行していない場合、BCDエラー画面が表示され、正常にインストールが出来ないことがあります。
その場合、電源スイッチを4秒間スライドし、強制的に電源を切り、再度電源スイッチを入れ、手順3（BIOSの画面）から作業を行ってください。
15. 「ユーザー名を入力してください」画面が表示されますので、「ユーザー名」を入力します。
ユーザー名を入力すると「コンピューター名」も自動的に変更されます。
「コンピューター名」の変更が必要なときは「ユーザー名」入力完了後、内容を変更します。
入力が完了したら「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
16. 「ユーザー アカウントのパスワードを設定します」画面が表示されます。
パスワードの設定が必要な際は、パスワードおよびヒントを入力します。
何も入力しない場合または、入力が完了したら「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
17. 「Windowsのプロダクト キーを入力してください」画面が表示されます。
「Windowsのプロダクト キー」は「Windows7 OSのDVD-ROMケースの裏」などに記載されています。
「Windowsのプロダクト キー」の入力完了後、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
18. 「コンピュータの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「R」キーを押します。
19. 「日付と時間の設定を確認します」画面が表示されますので、表示されている時刻などが正しいことを確認し、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。

20. 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示された場合、「Alt」キーを押しながら「K」キーを押します。
21. Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで、そのままお待ちください。Windowsのデスクトップ画面が表示された場合、Windows7 OSのインストールは終了です。引き続き、【各種ドライバのインストール】を行います。

■各種ドライバのインストール

※手順書はドライバの展開先（外付けUSBメモリ／ハードディスク）が「d:\win7drv」として説明しております。

【チップセットドライバのインストール】

1. 「スタート」ボタンを押し、「スタートメニュー」を表示します。「>すべてのプログラム」の下の「プログラムとファイルの検索」（空白部）に「d:\win7drv\Chipset\setup」と入力し、「Enter」キーを押します。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
3. 「セットアッププログラムへようこそ」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
4. 「使用許諾契約書」画面が表示されますので、内容を確認の上、「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
5. 「Readmeファイル情報」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. 「[次へ]をクリックして続行してください」メッセージが表示されましたら、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
8. 「セットアップ完了」画面が表示されます。「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が選択されていることを確認し、「Alt」キーを押しながら「F」キーを押します。

※「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が表示されず「完了(F)」のみが表示され、自動的に再起動が行われない場合があります。この場合はスタートメニューよりコンピュータの再起動を行ってください。

9. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【ビデオドライバ】のインストールを行います。

【ビデオドライバのインストール】

1. 「スタート」ボタンを押し、「スタートメニュー」を表示します。「>すべてのプログラム」の下の「プログラムとファイルの検索」（空白部）に「d:\win7drv\Video\setup」と入力し、「Enter」キーを押します。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
3. 「セットアッププログラムへようこそ」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
4. 「使用許諾契約書」画面が表示されますので、内容を確認の上、「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
5. 「Readmeファイル情報」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」

キーを押します。

6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. 「[次へ]をクリックして続行してください」メッセージが表示されましたら、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
8. 「セットアップ完了」画面が表示されます。「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が選択されていることを確認し、「Alt」キーを押しながら「F」キーを押します。
9. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【KJS Launcher】のインストールを行います。

【KJS Launcherのインストール】

1. 「スタート」ボタンを押し、「スタートメニュー」を表示します。「>すべてのプログラム」の下の「プログラムとファイルの検索」（空白部）に「d:¥win7drv¥KJSLauncher¥KJSLauncherSetup_1026」と入力し、「Enter」キーを押します。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
3. 「Installer Language」が表示されましたら、「Enter」キーを押します。をクリックします。
4. 画面が切り替わりましたら、「Enter」キーを押します。
5. インストールが行われます。しばらくお待ちください。DOSウィンドウ画面が表示が消えるまでお待ちください。
6. 「KJS Launcher（中略）は完了しました。」画面が表示されます。「Alt」キーを押しながら「F」キーを押します。
7. スタートメニューよりコンピュータの再起動を行ってください。引き続き【タッチパネルドライバ】のインストールを行います。

【タッチパネルドライバのインストール】

1. 「スタート」ボタンを押し、「スタートメニュー」を表示します。「>すべてのプログラム」の下の「プログラムとファイルの検索」（空白部）に「d:¥win7drv¥TouchPanel¥setup」と入力し、「Enter」キーを押します。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「Y」キーを押します。
3. 「Welcome to InstallShield Wizard for Touchside」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
4. 「スペース」キーを押し、「Install PS/2 interface driver」にチェックを入れ「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
5. 「Warning: The PS/2 mouse port（以下省略）」画面が表示されますので「Enter」キーを押します。
6. 「Do 4 point calibrations after system reboot」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
7. 「If you are trying to install the USB（以下省略）」画面が表示されますので「Enter」キーを押します。
8. 「If you want to use Multi-Monitor（以下省略）」画面が表示されますので「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。

9. 「Choose Destination Location」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
10. 「Select Program Folder」画面が表示されますので、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
11. 「Setup Type」画面が表示されますので、「スペース」キーを押し、「Create a Touchside (以下省略)」のチェックを外し、「Alt」キーを押しながら「N」キーを押します。
12. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
13. 「InstallShield Wizard Complete」画面が表示されますので、「Yes, I want to restart my computer now.」が選択されていることを確認し、「Enter」キーを押します。
14. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。
15. 「スタート」ボタンを押し、「スタートメニュー」を表示します。「>すべてのプログラム」の下の「プログラムとファイルの検索」(空白部)に「d:¥win7drv¥TouchPanel¥cal」と入力し、「Enter」キーを押します。
16. 位置補正画面が表示されます。画面の指示に従い、位置補正を行ってください。

※位置補正を再度行う際は、「d:¥win7drv¥TouchPanel¥cal」を実行するか、タスクバー上の「TouchSide」アイコンを右クリック(長押し)し、「4ポイントCAL」を選択します。
17. デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【サウンドドライバ】のインストールを行います。

【サウンドドライバのインストール】

1. 「d:¥win7drv¥Audio」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「Realtek High(以下省略)」が表示されましたら「はい(Y)」をクリックします。
4. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
5. 「Windows の再起動」画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。
6. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【無線LANドライバドライバ】のインストールを行います。

【無線LANドライバのインストール】

1. RFスイッチ押し、無線LANおよびBluetoothをオンにします。
2. 「Fn」キーと「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すと「システム」ウィンドウが表示されます。
2. 左側にある「デバイス マネージャー」をクリックします。
3. 「ほかのデバイス」内の「Marvell 802.11 SDIO (以下省略)」をダブルクリックします。

4. 「ドライバー」タブをクリックします。
5. 「ドライバーの更新(P)」ボタンをクリックします。
6. 「どのような方法でドライバー ソフトウェアを検索しますか?」画面が表示されますので、「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R)」をクリックします。
7. 「次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:」に「d:¥win7drv¥WLAN」と入力し、「次へ(N)」を選択します。
8. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
※Bluetoothデバイスの一部が同時にインストールされます。
マウスカーソルが通常表示になるまで、しばらく時間がかかります。
9. 「ドライバー ソフトウェアのインストールを終了しました」画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。
10. 開いているウィンドウをすべて閉じ、デスクトップ画面を表示させます。
引き続き【Bluetoothドライバ】のインストールを行います。

【Bluetoothドライバのインストール】

1. 「d:¥win7drv¥Bluetooth」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「セットアップ言語の選択」画面が表示されますので「日本語(日本)」が表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。
4. 「Bluesoleil 5.4 (以下省略)」画面が表示されますので「次へ(N) >」をクリックします。
5. 「使用許諾契約」画面が表示されますので「使用許諾契約の条項に同意します(A)」をクリックします。
6. 「次へ(N) >」をクリックします。
7. 「インストール先のフォルダ」画面が表示されますので「次へ(N) >」をクリックします。
8. 「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されますので「インストール(I)」をクリックします。
9. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
10. 「InstallShield ウィザードを完了しました」画面が表示されますので「完了(F)」をクリックします。
11. 「Bluesoleil 5.4 (以下省略)」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
1. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されましたら【各種ドライバのインストール】は完了です。
引き続き【バックアップしたデータの復元】を行ってください。

■バックアップしたデータの復元

※「Windows転送ツール」を使用してWindows7インストール前に行ったバックアップの復元を行います。

1. バックアップを行った「外付けUSBメモリ／ハードディスク」を本体に接続します。
 2. 「外付けUSBメモリ／ハードディスク」内にある「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」をダブルクリックします。
- ※「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」以外の名前で保存した場合、保存したファイルをダブルクリックします。
3. 「Windows 転送ツール」の画面が表示されますので、復元される内容を確認の上「転送(T)」をクリックします。
 4. 復元が完了すると「転送が完了しました」画面が表示されます。「転送された内容」および「インストールすべき内容」が表示されますので内容を確認後「閉じる」をクリックします
 5. 「転送を完了するには、コンピューターを再起動してください」画面が表示されますので、「今すぐ再起動する」をクリックします。
引き続き【アプリケーションソフトウェアのインストール】を行ってください。

■アプリケーションソフトウェアのインストール

【StationMobile5】

1. 下記URLより「Microsoft Visual C++ 2005 SP1再配布パッケージ」をダウンロードします。
<http://www.kjs-j.com/go/support/win7drv/vc2005sp1.html>
※Microsoft社のサイトに転送されます。
ダウンロードするファイル名は「vcredist_x86.exe」となります。
2. ダウンロードを行った「vcredist_x86.exe」をダブルクリックします。
3. 「開いているファイル - セキュリティの警告」画面が表示されますので「実行(R)」をクリックします。
4. 「Microsoft Visual C++ 2005 SP1再配布パッケージ」画面が表示されますので内容を確認の上、「はい(Y)」をクリックします。
5. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. ハードディスクのステータスLEDが消灯したのを確認します。
引き続き「StationMobile5」のインストールを行います。
8. 「d:\win7drv\TV」フォルダ内の「install」をダブルクリックします。
9. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
10. 画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【Adobe Reader】

以下のURLから最新版のプログラムをダウンロードしてください。
<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>
ダウンロード後は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【ebi. BookReader3J】

「c:\kjs」フォルダ内のebi. BookReader3JはWindows7と互換性が無いためインストールを行わないでください。
以下のURLから最新版のプログラムをダウンロードしてください。
<http://www.ebookjapan.jp/ebj/reader/windows/>

OS変更後は別の端末と認識してしまうため、購入した書籍が読めなくなります。
購入した書籍はトランクルーム（50冊まで無料）を使用して復旧してください。

【マカフィー・PCセキュリティセンター】

「c:\kjs」フォルダ内のウイルス対策ソフトウェアはWindows7と互換性が無いためインストールを行わないでください。
Windows7対応版のプログラムは以下URLよりダウンロードを行いインストールを行ってください。
<http://www.kjs-j.com/go/support/win7mcafee/>
※ダウンロードには、工人舎PC本体のシリアル番号が必要です。

【EIOffice】

本体同梱のライセンスカードに記載されたURLより、インストールプログラムのダウンロードを行います。
また、プログラムのダウンロードにはEIOfficeのユーザ登録が必要です。

【メールソフト(Outlook Express、Windows Mail等)について】

メールソフトはWindows標準機能では提供されなくなりました。
Outlook Express、Windows Mailの代替として、Windows Liveメールをインストールすることでメールを使用することができます。
Windows Liveメールは、以下のURLよりダウンロードすることができます。
<http://download.live.com/?mkt=ja-jp>
ダウンロード後は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【その他アプリケーションソフトウェア】

アプリケーションソフトウェアをインストールされる時は事前に、Windows7への対応状況を確認後、インストールされることをお勧めいたします。
ソフトウェアによってはWindows7に対応していない場合があり、意図しない現象が発生する可能性があります。

■その他、補足事項

【Aero(エアロ)機能の使用について】

本機はWindows7のAero機能に対応しておりますが、モバイル環境で使用する場合、動作低下や動画がスムーズに再生されないなどの現象が発生することがあります。
その場合は「Windows7 ベーシック」または「Windowsクラシック」テーマをご使用ください。
(デスクトップ上で右クリック、「個人設定(R)」でテーマの設定画面が表示されます。

【言語バーについて】

デスクトップ右下に表示される「言語バー」がフロート表示の場合、動画などの再生において、こま落ち等が発生することがあります。
「言語バー」を「最小化(タスクバーに固定する)」することで、こま落ちなどが改善することがあります。

■Windows7インストール後、WindowsXPへ戻す場合

【WindowsXPリカバリディスクの作成(Windows7での操作方法)】

リカバリエリア変更を行うとユーザーズガイドに記載された方法でリカバ리를

行うことが出来なくなります。
WindowsXPのリカバリを行う際は「WindowsXPリカバリディスク」を使用し、インストールを行います。

「d:\¥win7drv¥0ther」フォルダ内の「xprec.iso」をデスクトップにコピーを行います。外付けDVDドライブを本体に接続後、デスクトップ上の「xprec.iso」をダブルクリックします。
画面の指示に従い「WindowsXPリカバリディスク」を作成してください。

【WindowsXPリカバリディスクの起動】

1. Windowsを起動し、デスクトップが表示されている状態で、外付け光学ドライブを本体に接続し、「WindowsXPリカバリディスク」を挿入します。
USBメモリやSDカードなどは、すべて取り外してください。
2. スタートメニューよりコンピュータの再起動を行います。
3. BIOSの画面（KOHJINSHAロゴ）が表示されますので、「F11」キー（Fnを押しながらUキー）を数回押します。
4. 「Please select boot device:」が表示されますので、「↑」「↓」キーで外付け光学ドライブを選択し、「Enter」キーを押します。

※表示する内容は外付け光学ドライブの機器によって異なりますが、「HDD:（以下省略）」と「USB:（以下省略）」の2種類が表示されている場合、「USB:（以下省略）」のほうを選択（白地に青文字で表示）します。

5. 「Press any key to boot from CD or DVD.」が表示されたら「Enter」キーを押します。Windows7が起動した場合、「2」に戻ってコンピュータの再起動を行います。
6. リカバリのメニューが表示されます。
「リカバリを行う(R)」をクリックします。
※WindowsXPリカバリディスクはCドライブへのリカバリ機能のみとなります。
あしからずご了承ください。
7. 画面が切り替わりリカバリ作業が開始されます。
※「リカバリ作業中です しばらくお待ちください」から次の画面が表示されるまで数分間かかる場合があります。そのままお待ちください。
8. リカバリが終了すると自動的に電源がオフとなります。
電源をオンにし、Windowsのセットアップを続行してください。